

太陽の甘美な果実 「サンドルチェ」

サンドルチェ
(品種名：沖農P17)
の誕生

以前のパイナップルは主に缶詰の原料として栽培されており、酸っぱくて、食べ過ぎると舌が痛くなるということや、食べるのを敬遠している方も多かったと思います。

沖縄県ではパイナップルの生産振興の一環として、1989年から生食用パイナップルの品種育成に取り組み、「ソフトタッチ」、「ゴールドバレル」、「ジュリオスター」など、特徴のある優良品種を育成し、普及を図ってきました。

一方、沖縄県独自のブランドとしてのパイナップルの認知度は未だ十分ではなく、オリジナルブランドの作出とブランド化による市場競争力の強化が求められていました。そこで2017年1月に極めて糖度が高く、病気や台風などの障害に強い新品種「沖農P17」を品種登録し、同年3月に「サンドルチェ」の商標登録を行いました。

サンドルチェ
名前の由来

「サンドルチェ」の名称は、Sun(太陽：英語)とDoric(甘い、甘美な：イタリア語)からなる造語です。「沖農P17」の果汁糖度が19度以上と従来の品種と比べ非常に高いことから、スイツの様なイメージのネーミングとし、沖縄県ブランド品種の名称として商標登録を行いました。

サンドルチェの
ブランド展開

シンボルデザインの開発

「サンドルチェ」の名称と一緒に、視覚的なイメージを作り上げるため、シンボルデザインの開発も行いました。パイナップルの形状を連想させるような、幾何学模様をシンボル化し、太陽と葉を表現する形をモチーフにデザイン化しました。また、ドルチェの甘いイメージを表現するため、とろけた形状を一部で表現し、色味や形状を特徴的にする事で、今までに無い個性的なデザインとなりました。

沖縄県では、開発したこのシンボルデザインと商標を活用し、昨年度から

スイーツのような
パイン



「注目!」
サンドルチェは
長い期間美味しく
食べられます。

サンドルチェ(沖農P17)の美味しい収穫時期

品種名	地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
サンドルチェ(沖農P17)	本島北部	ハウス栽培	露地栽培						
	八重山								
N67-10	本島北部			ハウス栽培	露地栽培				
	八重山								
ボゴール	本島北部		ハウス栽培	露地栽培					
	八重山								
ソフトタッチ	本島北部		ハウス栽培	露地栽培					
	八重山								
ゴールドバレル	本島北部			ハウス栽培	露地栽培				
	八重山								
ジュリオスター	本島北部				ハウス栽培	露地栽培			
	八重山								

「サンドルチェ」の販売促進活動を展開してきました。



新品種商標登録された「サンドルチェ」シンボルデザイン

出荷規格の設定と販促活動

「サンドルチェ」のブランドイメージを損なわないように、収穫時期、着色歩合による収穫の目安、果実重や外観といった出荷規格等についてガイドラインを設定し、その基準を満たした果実に

生産振興について

パイナップルは、種苗の増殖に時間がかかるため急に生産拡大する事が難しいのですが、沖縄県では種苗増殖や販売促進、産地協議会の活動支援、栽培技術の試験研究など様々な事業を

ぜひ味わって
みてね!



「サンドルチェ」は沖縄県で育成した一番新しい品種。



果肉、
果汁から溢れだす
芳醇な甘さ



新しい
スイーツのようなパイン
召し上がれ。

販売された「サンドルチェ」



石垣市での試食販売の様子



苗増殖



問い合わせ

県園芸振興課

電話:098-866-2266

FAX:098-866-8689

便利な暮らし、よりよい社会へ!

始まりました!マイナンバー情報連携



便利な暮らし、よりよい社会へ!

始まりました!マイナンバー情報連携

